

PSS REPORT 2017

第32期 事業報告書

平成28年7月1日 ▶ 平成29年6月30日



東証マザーズ上場

証券コード：7707

▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長 日 島 秀 二

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計2万台を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。

■ 業績について

第32期（H29/6）連結業績について
⇒参照 連結財務ハイライト

対前期比では売上は減収なるも損失幅は改善しました。その要因としては、大手OEM先の一部において製品出荷が一時休止となっている影響と自社販売は前期比で売上拡大しているものの、OEM販売の減収を補えませんでした。積極的に費用削減努力に取り組んだことによるものです。

そのなかで、平成27年9月に発売した全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」が順調な販売推移となり、順調な立ち上がりとなっています。また、同製品の販売拡大を行うため日本国内販売及びエリテック社のCE-IVD規格試薬販売に関する契約締結を行いました。この事により自社試薬とセット販売展開をする新製品（geneLEAD VIII）を加えたgeneLEADシリーズの製品販売は、十分に市場に受け入れられるものとの認識を強めており、これを当社事業の将来を支える主力製品と位置づけた販売戦略を今後は展開いたします。



PSSの提案する診断システム

●全自動遺伝子診断装置
geneLEAD XII

■ 資本業務提携及び中期事業計画について

遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年数値の見直しを実施しています。

このたび（株）日立ハイテクノロジーズとの資本業務提携を行い、同社に対する第三者割当による新株式の発行を行いました。PSSの得意とする自動化システム製品の提供と同社の技術・製造・販売網・人材といった多方面の協力により中長期的には事業の相乗効果が大きいと期待できます。

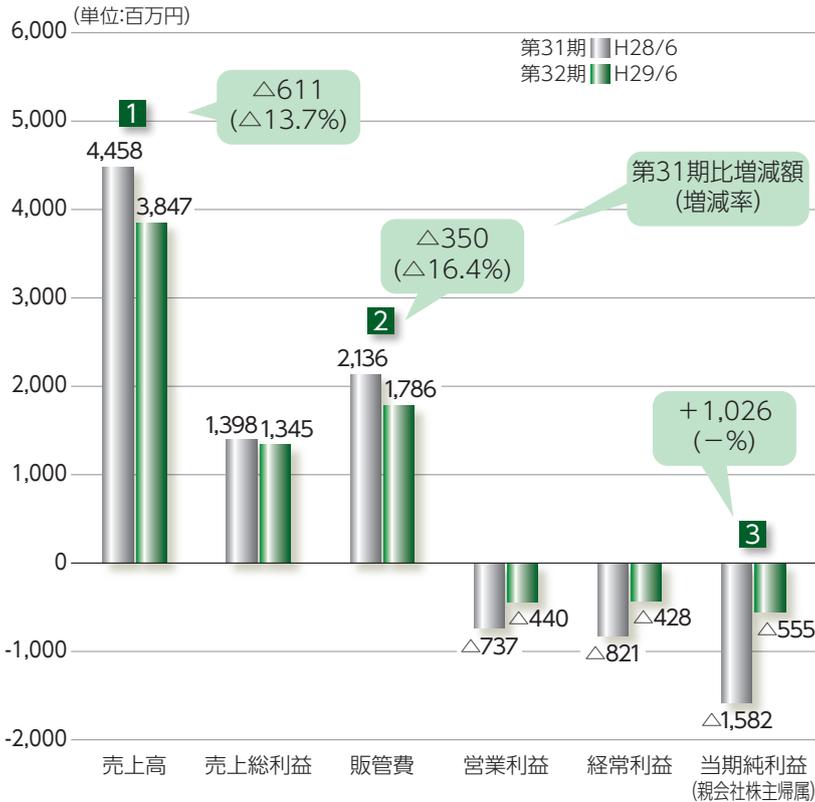
中期事業計画の方針としては、①既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得②自社製品のラインアップの充実と販売強化③試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を推し進めます。

これらの施策を厳格に進める事により、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実に御覧いただけるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第32期(H29/6)連結業績について

- 連結業績は、前期比減収となりましたが、費用削減努力により赤字幅は前期比縮小しました。
- 特別利益及び特別損失（固定資産の減損損失等）を計上しました。

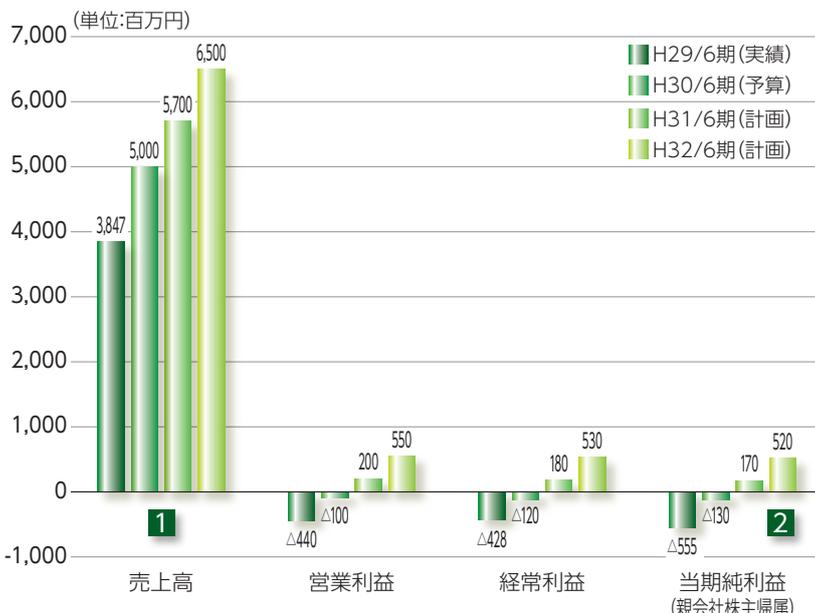


◆第31期(H28/6)業績比

- ▶売上高の減収**
OEM販売においては、全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」が順調な販売推移となり前期比で売上が倍増した一方、OEM先の一部において、製品出荷が一時休止となっている影響が大きいことと、近年注力している自社販売においては、前期比で約1.5倍の売上拡大となったものの、OEM販売の減収を補うには至らず、売上全体では前期比で減収となりました。
- ▶販管費は前期比削減**
費用削減努力により研究開発費647百万円(前期比16.8%減)となったほか、その他費用削減にも努め、対前期比350百万円削減(前期比16.4%減)となりました。
- ▶特別利益及び特別損失の計上**
[特別利益の計上]
取引先との契約に基づく受取補償金37百万円を計上しました。
[特別損失の計上]
①たな卸資産評価損
一部製品の在庫について、保守的な観点からたな卸評価損53百万円を計上しました。
②固定資産の減損損失
保守的な観点から減損の兆候が認められるものとし、当社グループが保有する固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失139百万円を特別損失に計上しました。

中期事業計画(平成30年6月期～平成32年6月期)について

- 当社グループでは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え、事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行して、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの事業転換を掲げています。
- これを踏まえて、中期事業計画の方針として、
 - ①既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得
 - ②自社製品のラインアップの充実と販売強化
 - ③試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を推し進めます。
- 一方で、当社グループにとって開発活動は、バイオベンチャーとして事業を拡大していくためには必須のものであり、また今後さらに自社販売を拡大していく中では体制構築のため追加投資も要するものと考えますが、収益とのバランスを考慮していくことで、今後1～2年内の営業黒字を実現を目指します。(為替レートは、1ドル=110円、1ユーロ=130円を前提とします。)



◆中期事業計画の見込み

- ▶取引先別売上推移**
自社販売が急増し、H32/6期は全体の約40%の売上構成比を見込んでいます。
- ▶製品別売上推移**
試薬・消耗品の売上が拡大してH32/6期には、全体の約40%の売上構成比を見込んでいます。
- ▶当期純利益**
H30/6期より業績が改善して、H31/6期には業績黒字化を見込んでいます。

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより

●中期事業計画策定のお知らせ
(平成29年8月14日)

■ 資本業務提携締結による業務面及び資金面の事業基盤強化

「(株) 日立ハイテクノロジーズとの資本業務提携、第三者割当による新株式発行及び主要株主の異動に関するお知らせ」
(平成29年5月15日)

資本業務提携の内容

1.業務提携の内容

- ①PSSが開発した核酸抽出システム及びその試薬を日立ハイテクが販売する。
- ②PSSが開発する小型遺伝子検査システム及びその試薬を日立ハイテクが販売する。
- ③PSS及び日立ハイテクの技術を活用し、日立ハイテクが中型遺伝子検査システムを開発し販売する。
試薬については当社及び第三者が開発し日立ハイテクが販売する。

2.資本提携の内容

PSSは、本第三者割当により、日立ハイテクに当社普通株式2,310,000株を割り当てをする。

3.役員の派遣

PSS及び日立ハイテクは、協議の上で日立ハイテクが指名する者を、当社の定時株主総会において当社の取締役候補者とする選任決議案を付議することについて合意しております。

■ IR Q&A (株主の皆様よりよく受ける質問より)

(質問)「国立がん研究センターなどは、血液一滴で乳がんなど13種類のがんを早期発見する新しい検査法を開発し、早々に臨床研究を始める。」と報じられましたが、PSSの検査機器による検査方法ではないでしょうか。開発の進展状況はいかがですか。

(回答) 本件は自社発表ではないので、個別に具体的なコメントは差し控えさせていただきますが、関連するテーマとして従前より重要な研究開発テーマとして国家プロジェクトに参画しています。過去のインフォメーション記事では、「PSSが、NEDOプロジェクト「体液中マイクロRNA測定技術基盤開発」の委託先として採択される。(2014年06月12日) また、最近のインフォメーション記事においてもPSSの全自動遺伝子解析装置に関する原稿執筆の報告 (2017年07月11日) にて情報発信を行っており、今後も本テーマに関する進捗や成果等を何らかの形でご報告させていただきます。

(質問) 全自動遺伝子検査システムのブレイクスルーについて (geneLEADⅧ)

- 1 この装置は、次世代シーケンサー (塩基配列解析装置) ですか。
- 2 新聞にて次世代シーケンサーを用いたがん遺伝子の一括検査が2018年にも保険適応になるという記事が載りましたが、この装置は対応できるものですか。
- 3 前記2で対応できないとすると、PSSは対応機種を開発しないのですか。



(回答1)

次世代シーケンサーではありません。geneLEADⅧはリアルタイムPCRを搭載した即時に特定の遺伝子を読み取る全自動遺伝子検査システムです。一方で、次世代シーケンサーは、遺伝情報を持つDNAの塩基および、この配列を、同時並行で大量に読み取る解析装置です。一般的にはリアルタイムPCR装置に対して、一度に高価で検出感度は低いが、大量に遺伝子の解析を行える特徴があります。

(回答2)

回答1にて示したように次世代シーケンサーではないので、網羅的な遺伝子診断・解析はできませんが、本製品は当初は感染症分野、将来的には市場ニーズがあれば高感度で行う特定項目のがん遺伝子検査を行うことを視野に入れています。

(回答3)

PSSのDNA自動抽出装置は「次世代シーケンサーの前処理工程」で利用されており、そういう意味では製品販売は行っています。過去のインフォメーション記事「(遺伝子解析用途)次世代シーケンサーのPSS前処理技術と製品について原稿執筆の報告」(2014年03月11日)をご参照下さい。現状においてはPSS自体で次世代シーケンサーを取り扱っていませんが、オープン (汎用性の高い) な自動化システム技術を持つPSSにおいては、将来次世代シーケンサー関連製品の開発及び販売をする可能性はあります。

■ PSSの製品技術の最新の魅力を伝えるためにウェブサイトをリニューアル (平成29年7月3日)

<http://www.pss.co.jp>

バイオシステムネットワークを通じたPSSの社会貢献



バイオ業界の多様な分野における自動化システムの開発・販売を通じて、生体情報の有効活用による社会貢献を目指します。

会社概要 (H29/6末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
常務取締役 秋本 淳
常務取締役 池田 秀雄
取締役 古川 昭宏
取締役 上田 哲也
取締役* 團野 達郎
監査役** 平山 伸之
監査役** 荻原 大輔
監査役** 山川 善之
(注) *社外取締役 **社外監査役

資本金：3,401百万円

従業員数：186名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等含まない)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ (株) (千葉県松戸市)
エヌピーエス (株) (秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー

遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株
発行済株式の総数 23,066,900株
株主数 10,715名

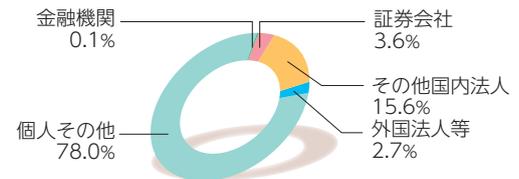
大株主 (H29/6末現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	4,549,200	19.7
(株)日立ハイテクノロジーズ	2,310,000	10.0
(有)ユニテック	1,200,000	5.2
高橋 計行	278,000	1.2
高山 茂	202,800	0.9
(株)SBI証券	176,000	0.8
楽天証券(株)	161,200	0.7
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	146,600	0.6
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	133,400	0.6
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	119,400	0.5

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日
中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先

〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く
9:00~17:00)

お取扱店

みずほ証券
本店、全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。
みずほ信託銀行
本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 IR・社長室

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL:047-303-4800 ▶FAX:047-303-4810 ▶Eメール:ir@pss.co.jp